

1 中国国内研修事業

1.1 産婦人科実用技術研修

・概 要

日時：2017年7月17日(月)～7月21日(金)

会場：北京協和病院

実施責任者：孫大為 協和医院婦産科 教授(第10期生)

受講者：11名(四川省・湖南省・湖北省・河北省・内モンゴル自治区の婦幼保健院主治医師等)

出張者：星合昊(大阪府済生会富田林医療福祉センター総長)

茅野芽衣子(日中医学協会 職員)

研修視察詳細

① 開講式

・日中医学協会 派遣専門家 挨拶

・実施責任者 孫大為 挨拶

・受講生がチームに分かれ、ローテーションで各科(一般・産科・家族計画科・婦人腫瘍科)を回り、研修を行う。

② 講義

「女性骨盤機能障害疾病(骨盤臓器脱・子宮脱)」

孫智晶(協和医院)

③ 北京和睦家婦嬰医療保健中心の見学

・報 告

4年続いた協和病院での研修が、今年度で終了するのは大変残念な気がした。日本人専門家として複数年参加された星合先生からは、2級病院の10数名への研修が、同学会事業方針に合致しないのであれば、100名規模で講演会を行って、より多くの研修医が最新の技術や知識を学ぶことができるようにすればいいのではないかという提案を受けた。

和睦家婦嬰医療保健中心参観については外資系私立病院の設備レベルの高さ、サービスの良さに驚いた。今後、富裕層対象の病院が更に増加することが予測される。医療の格差を改めて感じた。(茅野)



受講生と孫大為教授(第10期生 協和医院婦産科教授)



星合昊先生と受講生

1.2 老年介護実用技術研修

・概 要

日時：2017年7月23日(日)～7月28日(金)

会場：四川大学華西医院

実施責任者：胡秀英 護理学院長 (第18期生)

受講者：20名(甘肅省・青海省・遼寧省・新疆ウイグル自治区・寧夏回族自治区・河南省・安徽省・内モンゴル自治区・江西省の社区卫生服務センターの看護師等)

出張者：渡邊真一(福祉用具管理インストラクター)

岡田光子(日中医学協会事務局次長)

講演・研修視察詳細

① 開講式

・実施責任者 胡秀英 挨拶

② 講義

「褥瘡予防の院内リスク管理」

渡邊真一(日中医学協会派遣専門家)

③ 研修参観

・高齢者体験授業

・報 告

前回研修の反省を踏まえて、受講者は皆老年介護に従事している看護師であるとのことで、目的意識も高く、実際の研修がすぐに業務に反映するため、非常に熱心に受講している様子であった。渡邊講師の講演は褥瘡のできる仕組みを科学的にわかりやすく説明し、知識を持って正しく機器を使いこなすことで、患者の褥瘡を未然に防ぐことができるばかりか、介護者の腰痛の予防にもあるということをわかりやすく説明し、受講生を引き付けていた。又、患者の目線で介護者が行動することは受講生に深い感銘を与えた。

研修視察では、受講生がゴーグルや拘束具を身に着けて高齢者の身体的機能・心理的变化を体験した。受講生は階段上りや、針の糸通しで高齢者の生活能力の低下の度合いを体感した。患者の状況を知ることは今後の介護業務の中で必ず役立つことであり、このような体験型の講義を組み込むことで、研修効果が高まると考えられる。(岡田)



高齢者体験をする受講生



渡邊真一先生と受講生

1.3 呼吸器実用技術研修

・概 要

日時：2017年8月2日(水)～8月9日(水)

会場：中日友好医院

実施責任者：王玉華(中日友好医院)

受講者：30名(湖北省、湖南省、新疆ウイグル自治区、雲南省、四川省、重慶市、遼寧省、黒龍江省、河南省、広西チワン族自治区、チベット自治区、貴州省、内モンゴル自治区、海南省、山東省、青海省)

出張者：高橋和久(順天堂大学教授)、金粉花(日中医学協会事務局)

講演・研修視察詳細

① 開講式

・中日友好医院 彭院長挨拶

・講義

「肺癌の胸部X線・CT 読影のポイント」

高橋和久(順天堂大学呼吸器外科教授)

② 研修参観その他

・報 告

講演者に受講者情報がきちんと伝わったことで、受講者のレベルにあった講演内容となり、講演終了後も多くの質問が出た。今回は読影のやり方を詳しく具体的に述べた講演内容であったが、やはり、具体的で実用的な講演が求められているということがわかった。

講演以外にも、高橋教授と中日友好医院の間でよい交流が持たれ、専門家派遣の目的を達成できた。



高橋和久先生による講演



高橋和久先生と受講生

1.4 短期総合診療研修

・概 要

日時：2017年9月4日(月)～9月29日(金)

会場：中国医科大学

実施責任者：許順 中国医科大学 主任医師(第15期生)

受講者：16名(重慶市、四川省、湖南省、河北省、内モンゴル自治区、寧夏ウイグル自治区の県レベルの病院及び衛生院・衛生サービスセンターに勤務する医師)

出張者：中島 淳(東京大学教授)、岡田光子(日中医学協会事務局次長)

講演・研修視察詳細

① 開講式

・笹川医学奨学金進修生同学会 趙群理事長(第10期生)挨拶

② 講義

「日本の肺癌外科治療の進展」

中島淳(東京大学教授)

③ その他

中国医科大学関係者との交流

・報 告

中国医科大学は同学会会員が最も多く在籍する大学であり、中島教授に指導いただいた会員も複数おり、継続的な交流が実現した。(岡田)



中島淳先生による講演



中島淳先生と受講生

1.5 腹腔鏡実用技術研修

・概 要

日時：2017年9月18日(水)～9月28日(水)

会場：中南大学湘雅二院

実施責任者：李永国 湖南旺旺医院名誉院長(第1期生)

受講者：12名(河北省、甘肅省、青海省、内モンゴル自治区、河南省の県レベルの病院に勤務する主治医師等)

出張者：山田大輔(JCHO九州病院)、太田晶子(日中医学協会事務局)

講演・研修視察詳細

① 開講式

・中南大学 黄江生主任挨拶

② 講義

「腹腔鏡実用技術研修」

山田大輔(JCHO九州病院)

③ 研修参観その他

・講演終了後、中南大学湘雅二院で行われていた手術を参観し、翌日は動物を使用したハンズオン研修を参観した。

・報 告

日本人派遣専門家の山田先生からは、講演は90分しかないので、有効な情報を伝えるには限界があるが、例えば動物トレーニングに使用する教科書を日本から提供するなどトレーニング方法に関するアドバイスをしていけばより研修効果が上がるのではないか、という提案をいただいた。講演終了後、手術見学を行い、又翌日ハンズオン研修の参観を行ったので、研修実施病院の設備レベル、研修のレベルなどを確認できた。受講生は腹腔鏡の手術経験はあるが、ほとんどが動物モデルは初めて、ということで、研修の継続が受講生から強く求められていた。(太田)



山田大輔先生による講演



動物モデルによるハンズオン研修

1.6 超音波実用技術研修

・概 要

日時：2017年10月16日(月)～10月20日(金)

会場：西安交通大学附属第一医院

実施責任者：阮驪韜 西安交通大学第一附属医院 主任

受講者：12名(雲南省、湖北省、広西チワン族自治区、四川省、陝西省、青海省、河北省の県レベルの病院に勤務する主治医師等)

出張者：工藤正俊(近畿大学教授)、岡田光子(日中医学協会事務局次長)

講演・研修視察詳細

① 開講式

・西安交通大学第一附属医院 王茂徳院長 挨拶

② 講義

「Sonazoid-enhanced US in the Management of HCC」

工藤正俊(近畿大学教授)

③ 病院参観

・報 告

日本においては通常各臓器の専門家が超音波検査を行っており、臓器スペシャリストとして血液検査やCT、MR画像など超音波を対比するという研究が容易に行われている。しかし、中国においては超声科が独立しており、放射線科や内科が患者さんを直接診察することがないということを知った。日本と中国の超音波診療の違いがよく理解できた。(岡田)



工藤正俊先生による講演



工藤正俊先生と受講生

1.7 口腔実用技術研修

・概 要

日時：2017年10月23日(月)～11月3日(金)

会場：四川大学華西口腔医学院

実施責任者：黄定明(第23期生 四川大学口腔医学院主任医师)

受講者：10名(遼寧省、黒龍江省、甘肅省、内モンゴル自治区、貴州省、青海省の県レベルの病院に勤務する主治医師等)

出張者：金子友厚(東京医科歯科大学助教)、太田晶子(日中医学協会事務局)

講演・研修視察詳細

① 講演

「歯内療法の臨床エッセンス」

金子友厚(東京医科歯科大学助教)

② 病院参観

・報 告

派遣専門家の金子先生からは以下の感想をいただいた。「受講生は皆前列に着席しており、当講座に対する関心度の高さがうかがえた。講義室のモニターも大きく見やすく、講演者、聴講者の双方にやりやすい講義室だと思われた。講演中も、皆、真剣に聞いていたので、講演者としてもとても有意義に感じられた。研修時間は、1時間だったが、適当であったと思われた。動画を多用し、紹介するような場合には休憩をはさんで90分くらいでもよいのであろうかと考えた。また、質疑、応答の時間も設けられたら、受講生のわからないところを説明できるので、さらに、よかったであろうと思った。」

講演終了後、四川大学口腔医学院を参観し、臨床の様子やトレーニング用のシミュレーターを参観した。又、口腔医学院内にある国家重点研究室を参観した。国家重点研究室は口腔領域では珍しい大規模実験室で、他領域の研究者も交え、日常的に基礎研究が行われていた。四川大学口腔医学院が基礎・臨床の両面でトップレベルの機関であることを改めて認識した。(太田)



金子友厚先生による講演



金子友厚先生と受講生

1.8 中長期臨床研修

・概 要

中長期臨床研修は、同学会会員が自身の所属する科室で他の医師の力も借りながら県級病院の医師を中・長期間に渉って指導するという事業で、継続的な1対1の指導が可能であり、地域の医療水準の向上に大きく寄与している。

同学会会員はそれぞれの専門領域で1～3名の医師を地域の県級病院から受け入れ、3か月～6か月間臨床の指導を行った。

・報 告

今年度は、内科、小児科、老年看護、中医内科の領域で研修生を受け入れた。

今年度研修を担当した同学会会員は以下の通り。

内科(腎臓)	孫偉(第18期生)	江蘇省中医医院	2名
内科(高血圧)	李南方(第7期生)	新疆回族自治州人民医院	3名
小児科	楊林海(第25期生)	山西省兒童医院	2名
老年看護	胡秀英(第18期生)	四川大学華西医院	2名
中医内科	李顯筑(第8期生)	黒龍江中西医结合研究所	2名
中医内科	趙樹華(第4期生)	吉林大学中日聯誼医院	2名



趙樹華教授(第4期生 吉林大学中日聯誼医院教授)による指導



李南方教授(第7期生 新疆ウイグル族自治区人民医院高血压センター教授)による指導

2 支部交流会議

2.1 華東支部交流会議

・概 要

日時：2017年5月13日

会場：杭州匯和君亭酒店 13F

実施責任者：孫偉 江蘇省中医院教授(第18期生)

殷猛 上海交通大学附属上海兒童医学中心 副主任醫師(第27期生)

参加者人数：約70名

出張者：小野喜志雄(日中医学協会 監事)

太田晶子・郭笑蕾(日中医学協会 職員)

プログラム

① 日本来賓挨拶

- ・日本財団 審査部 原田貴美子チームリーダー 挨拶
- ・日中医学協会 監事 小野喜志雄先生 挨拶

② 基調講演

「日本の医療改革の方向性」 小野喜志雄(日中医学協会監事)

「新しい医療改革下で医師が行うべきこと」 陳亦江(江蘇省衛計委巡視員)

③ 講演および討論

「国家医療改革法案に対するいくつかの私見」 于布為 中華医学会麻醉分会前理事長、上海瑞金医院
慮湾分院院長(第2期生)

「丁香園の医療改革」 楊澤方(小児科医師 丁香園サイト管理人 丁香園診療所創設者 医療改革先
進者)

「医療改革に対する青年の意見」 周謙君 上海胸科医院 腫瘍外科副主任醫師(第31期生)

「私と岡山大学のこの10年」 何非方 浙江大学医学院附属邵逸夫医院疼痛科 主任醫師(第29期生)

④ 懇親会・会員交流

・報 告

会の冒頭では、浙江大学医学院院長である段樹民院士(第3期生)がご挨拶をした。段院士はこれまで笹川同学会の行事に参加したことがないとのことであったが、今回同学会本部の熱心な働きかけで参加が実現した。

外部講師の陳亦江氏は南京医科大学の副校長という経歴で、医療関係者として「医療改革」に行政面で関わっている立場として、衛生計生委の「医改」の考え方と現実起こっている問題点を提示していた。

又、同じく外部講師の楊澤方氏は自身が管理している「丁香園論壇」での医療関係者の連携、多点執業を前提とした小児クリニックの開設など、市場の原理に基づいた新しい医療機関の在り方を提示して興味深かった。今回この「丁香園」WWW.DXY.CNの活動を詳しく知ったが、「多点執業」や「転職」においても現在の中国医療界では多くの情報が公開され、医師の流動が盛んに行われていることがよくわかった。

医療改革は「分級診療制度」「全科医師(総合診療医)、小児科医、看護人員など不足している人材の育成システムを強化」「薬事管理」等いろいろな方面で行われているが、「丁香診所」(杭州)のよう患者の条件と診療所の条件が整えば、「初診の分級」等がスムーズに行われる可能性を強く感じた。材者の条件と診療所の条件が整えば、「初診の分級」等がスムーズに行われる可能性を強く感じた。(太田)



段樹民院士(第3期生 浙江大学医学院院長)のご挨拶



会議風景

2.2 黒龍江地区交流会議

・概 要

日時：2017年6月10日

会場：ハルビン金谷大廈 4F

実施責任者：李忠金 笹川医学奨学金同学会 秘書長(第12期生)

李顕筑 黒龍江省医院 副院長(第8期生)

参加者人数：約22名

出張者：小野喜志雄(日中医学協会 監事)、郭笑蕾(日中医学協会 職員)

プログラム

① 日本来賓挨拶

・日中医学協会 監事 小野喜志雄先生 挨拶

② 同学会代表挨拶

・笹川医学奨学金同学会 秘書長 李忠金 挨拶

③ 学術報告

・「膵体尾部ガンの診断と外科治療」

金政錫 黒龍江省医院 副院長(第5期生)

・「結合医学の考え方を築き、臨床効果を高める」

李顕筑 黒龍江省中西医结合学会 会長(第8期生)

・「慢性腎病患者の血圧管理」

郝麗栄 ハルビン医科大学付属第一医院血液透析センター 主任(第24期生)

・「参仙昇脈口服液の薬理作用とメカニズムについての研究」

張妍 ハルビン医科大学薬理教研室 教授(第31期生)

・「睡眠障害性疾患の診断と治療」

孫威 ハルビン医科大学附属第二医院神経内科 准教授(第31期生)

④ 懇親会・交流会

・報 告

黒龍江省医院の副院長の金政錫氏は膵臓尾部ガンのメカニズムや治療方法を3Dビデオなどの先端的な技術にて展示し、論理的で、専門的な説明をしていた。李顕筑氏は中国における中医と西医を結合して治療領域に用いる

専門家であり、中西医结合の考え方をどのように臨床治療に用いたかの経験について述べた。すべての学術報告は医師や教授の方々が各々の専門を中心に行っていたため、互いの専門とは遠く離れており、お互いに理解しづらいところがところどころあったと感じた。最終講演者の孫威氏は神経内科の専門家ではあるが、人々の日常生活でよく発生する睡眠問題について分かりやすいデータや画像を用いて講演をした。これは他の参加者にとって興味深い話であったと感じた。これからの交流会における講演は、もっと参加者が共感をもてるテーマにしたほうがよりよい効果が出てくるのではないかと感じた。また、今度の支部交流会の参加者の中で、笹川生を指導教官としている医学系研究科に在籍している大学院生の姿が何人か見られた。彼らは、積極的に議論に参加したり、メモを取ったりして、熱心に参加していた。懇親会の時に、「またこのような機会があれば、ぜひ参加させていただきます」と言っていた。支部交流会は、笹川生だけを対象とする交流会ではなく、医学系の若者たちや、他の医学関係者も含めた人々が皆一緒に交流や勉強をしている場とであると感じた。これは、同学会の影響力を高めることや、日中医学の交流を促すことにとっても、大変有意義なことではないだろうかと考えられる。(郭)



孫威氏（第31期生 ハルビン医科大学附属第二医院神経内科准教授）の講演



集合写真

2.3 華北支部交流会議

・概 要

日時：2017年6月24日

会場：天津ハイアットリージェンシー

実施責任者：李忠金(笹川医学奨学金同学会 秘書長)

韓晶岩 北京大学医学部中西医结合学系主任(第9期生)

孟召偉 天津医科大学総医院核医学科(第30期生)

参加者人数：35名

プログラム

① 同学会代表挨拶

・李忠金秘書長 挨拶

② 参加会員自己紹介

③ 学術報告

・「熱毒血瘀と清熱涼血の科学的意味」

韓晶岩 北京大学医学部中西医结合学系主任(第9期生)

・「image reviewの安全性について」

張雪寧 天津医科大学第二医院影像科主任(第19期生)

・「甲状腺疾病における核医学の応用」

孟召偉 天津医科大学総医院核医学科(第30期生)

④ 質問・討論

⑤ 同学会秘書長のまとめ

・報 告

日本からの出張者は前日のフライトが中止となったため、残念ながら参加することはできなかったが華北支部は比較的若い会員が多数集まり、活気にあふれた会となった。3名の会員が各々の専門領域に関する発表を行い、専門性の高い講演が行われた。今後は若い会員を中心に、共通のテーマを取り上げ、討論できる形での開催が期待される。



孟召偉氏 (第31期生 天津医科大学总医院主任医师) の講演



集合写真

2.4 西南支部交流会議

・概 要

日時：2017年8月26日(土)

会場：重慶洲際大酒店

実施責任者：趙群 笹川医学奨学金同学会 理事長(第10期生)

劉愛民 中国科学院輸血研究所(第8期生)

熊宇 陸軍軍医大学第一附属院(第34期生)

参加者人数：40名

プログラム

① 同学会代表挨拶

・趙群理事長 挨拶

② 日方来賓挨拶

・日本財団尾形理事長 挨拶

③ 記念撮影

④ 学術報告

・「静かに尊厳を持って死なせてください、」

丁群芳 四川大学華西老年医学中心主任(第25期生)

・「老年患者VTE予防治療中の若干の問題」

陳虹 重慶医科大学附属第一医院呼吸器外科主任(第27期生)

・「皮膚鏡で見えますか？」

冉玉平 四川大学華西医院皮膚性病科教授(第4期生)

・「日本の医療におけるケア体系の現況と課題」

安達 勇(日中医学協会副会長)

⑤ 質問・討論

・報 告

本会には、重慶、成都、湖南、湖北、江西などの地域の会員が参加した。講演は老年医学をテーマとし、日本側専門家として安達勇日中医学協会副会長が日本のケア体系の発展について中国語で講演された。もう少し討論に時間を取って、日中の介護関連領域について議論ができると良かった。

日本側来賓として日本財団尾形理事長、吉倉常務、中村リーダーが参加された。会の冒頭で同学会趙群理事長と日本財団尾形理事長が発言され、日中笹川医学奨学金制度が中国で発展してきた過程とその歴史を思い返すことができ、双方の機関のたゆまぬ努力のおかげでこれまで継続してきたということを確認できた。

重慶で交流会議が開催されたのは初めてであるが、本会議には重慶在住の会員がほとんど参加した。今後の西南地区検討会への可能性が膨らんだ。(郭)



丁群芳氏 (第25期生 四川大学華西老年医学中心主任) の講演



集合写真

2.5 東北支部交流会議

・概 要

日時：2017年9月15日

会場：北約客維景酒店

実施責任者：許順 中国医科大学第一附属医院(第15期生)

参加者人数：約100名

プログラム

① 同学会代表挨拶

- ・趙群同学会理事長挨拶
- ・許順日中医学協会副秘書長挨拶

② 記念撮影

③ 学術報告

- ・「原発性肺癌に対する最新の治療」
中島淳（東京大学医学部教授）
- ・「肺癌の多学科診断と治療の探索」
許順 中国医科大学第一附属医院主任(第15期生)
- ・「第八版TNM分期の局限性及び探索性研究」
孫艶彬 中国医科大学第一附属医院(第37期生)
- ・「肺転移癌の外科診療予後の分析」
孫長博 中国医科大学第一附属医院(第38期生)

④ 討論

・報 告

本会議は領域のリーダーである専門家による講演と青年医師の報告を融合させる形で行った。青年医師の報告は基礎研究、臨床研究の両方面に跨り、参加青年医師も加わり、活発な討論が行われた。



會議風景



中島淳教授と同学会会員

2.6 山東・河北地区交流会議

・概 要

日時：2017年9月23日

会場：泛海名人酒店

実施責任者：曹学成 済南軍区総医院普通外科主任(第18期生)

参加者人数：25名

プログラム

① 座長挨拶

・曹学成 済南軍区総医院普通外科主任 挨拶

② 開会宣言

・李忠金 同学会秘書長

③ 来賓紹介

在青島日本国総領事館 遠山茂総領事

日中医学協会事務局長 本田伸吾

④ 学術報告

・「創傷骨科における導板技術の応用」

曹学成 済南軍区総医院教授(第18期生)

・「超音波介入治療技術の臨床応用」

張永 山東省中医院 肝病科教授(第24期生)

・「転移性前立腺癌根治における前立腺の切除技術の意義」

牛志宏 山東省立医院泌尿器外科(第26期生)

・「日中国際遠隔診療の臨床経験」

李莉 青島和睦家医院皮膚科 副主任医師(第30期生)

・「結腸全摘術へのロボット手術応用」

張小橋 済南軍区総医院 胃腸外科主任医師(第30期生)

⑤ 質問・討論

・報 告

本会議では学術講演のテーマを「デジタル医療」とし、すべての医療関係者にとって興味ある内容としたため、関与度が高く良い反応が得られた。

在青島日本領事館の総領事に参加いただき、広い視野で参考になる話をしていただいた。今回の実施責任者より、今後は会議開催前の準備を更に組織的に行い、会議論文集を作成してはどうか、作成することによって会議資料として残すことができ、相互交流に役立ち、参加者の積極性を高めることができる、という提案が為された。



張永氏（第24期生 山東省中醫院肝病科教授）の講演



集合写真

2.7 陝西・山西地区交流会議

・概 要

日時：2017年10月14日(土)

会場：西安建国飯店

実施責任者：李国棟 西安交通大学外国語学部教授(第16期生)

参加者人数：約30名

プログラム

① 同学会代表挨拶

・姚徳茂 西安交通大学第一附属病院主任(第26期生)

② 学術報告 テーマ「早期発見・早期治療・QOLの向上」

・「胆管悪性腫瘍の早期発見と予後」

姚徳茂 西安交通大学第一附属医院外科主任(第26期生)

・「ネットワークでの健康ニュース研究」

葉春峰 西安交通大学図書館副館長(第16期生)

・「子宮頸がん細胞診とHPVスクリーニング検査」

郭英 九州医学検験所副総経理(第27期生)

・「良い歯の基礎、歯周の健康の重要性」

呉江 空軍軍医大学口腔医院(第33期生)

・「早期発見・早期治療の循証医学実践」

王安輝 空軍軍医大学流行病与循証医学副主任(第30期生)

③ 討論

・報 告

講演はテーマが明確で情報量が多く、よく準備されており、分かり易かった。遠く甘肅省からも会員が参加した。実施責任者からは、今後は日本の専門家に参加してほしいという意見が挙げられた。



會議風景



集合写真

2.8 日本支部総会学術セミナー

・概 要

日時：2018年3月10日(土)

会場：TKP品川港南口会議室(東京都品川区)

実施責任者：袁世華 杏林中医薬情報研究所所長(第2期生)

参加者人数：約20名

プログラム

① 総会

- ・2017年度事業報告 支部長 袁世華
- ・2017年度収支報告 会計担当 阿倉英実
- ・2018年度事業計画 学術担当 趙松吉
- ・日中医学協会挨拶 副会長 安達勇

② 学術報告

- ・「腎癌の分子標的治療の開発：抗TRAIL Death Receptorモノクローナル抗体治療を中心に」
呉秀賢 兵庫医科大学泌尿器科講師(第19期生)
- ・「脳卒中高齢者の在宅療養支援に関する日中比較研究」
張平平 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授(第18期生)
- ・「腎透析患者のバスキュラーアクセス不全時の血管狭窄における肥満細胞由来のキマーゼの役割」
金徳男 大阪医科大学大学院医学研究科創薬医学講師(第14期生)

・報 告

講演者はいずれも日本在住期間が長く、日本で講演を行った。いずれも各領域での先端の内容で会員の日本での活躍が窺える内容であった。会議周知の方法、時期を工夫してもっと多くの会員が参加できるようにしてほしい。



呉秀賢氏(第19期生 兵庫医科大学泌尿器科講師)の講演



集合写真

3 ボランティア診療

3.1 残留孤児コミュニティー健康講座 IN 板橋

・概 要

日時：2017年10月21日(土)

会場：長寿園(東京都板橋区清水町61-9)

実施責任者：袁世華 杏林中医薬情報研究所所長(第2期生)

参加者人数：約30名

プログラム

① 日本支部挨拶

・李亜範 日本支部副支部長(第13期生)

② 講演

・「如何にて老化を防ぐか」

袁世華 杏林中医薬情報研究所所長(第2期生)

③ 健康相談

外科・産婦人科・口腔科・中薬等の領域に分かれて健康相談を受けた。

・報 告

講演は参加者の興味あるテーマで分かり易い内容であったが、講演時間が若干長すぎて参加者が疲れてしまった様子であった。

健康相談は母国語で健康相談をする機会はほとんどないため、参加者のほとんどが個別健康相談を受けていた。同学会日本支部にしかできない有意義な活動であるので、継続して行っていきたい。(李亜範)



李亞範副理事長(第13期生)の挨拶



同学会会員と第39期生による健康相談



集合写真

3.2 西安地区ボランティア診療

・概 要

日時：2017年11月24日(日)

会場：陝西省扶風県人民医院

実施責任者：張軍 西安交通大学医学院附属第二医院教授(第11期生)

参加者人数：5名(李忠金、張軍、姚徳茂、張巧俊、鄭紅)

受診者人数：約140名

プログラム

- ① 領域に分かれてカンファレンスと病棟回診を行った
- ② 扶風県人民医院のロビーでボランティア診療を行った。

・報 告

11月23日夕方に西安を出発し、現地到着後扶風県人民医院の病院幹部らと打ち合わせを行い、現地の状況や需要を把握してボランティア診療を行った。24日は早朝から現地の医師と一緒に領域ごとにカンファレンスを行い、病棟回診を行った。

その後、外来棟のロビーでボランティア診療を行い、当地の患者の診療を行った。診療には約140名もの受診者が集まり、専門家の診断を仰いだ。



張巧俊教授による病棟回診



張軍氏(第11期生 西安交通大学教授)による診療

3.3 残留孤児コミュニティー健康講座 IN 横浜

・概 要

日時：2018年1月20日(土)

会場：ひかりが丘小学校コミュニティハウス(横浜市旭区上白根町1306-14)

実施責任者：袁世華 杏林中医薬情報研究所所長(第2期生)

参加者人数：約40名

プログラム

① 日本支部挨拶

・李亜範 日本支部副支部長(第13期生)

② 講演

・「気血水から漢方薬を選ぶ」

袁世華 杏林中医薬情報研究所所長(第2期生)

③ 健康相談

外科・産婦人科・口腔科・中薬等の領域に分かれて健康相談を受けた。

・報 告

講演は中国伝統医学の理論と実践の精髓を平易に話し参加者に好評であった。健康相談は5名の日本支部会員に加えて3名の第39期研究者が加わり、個別の質問を受けた。

今年度2回目であることもあり、運営上の問題もなく、順調に盛会裏に終了した。



同学会会員と第39期生による健康相談



集合写真

3.4 残留孤児コミュニティー健康講座 IN 明石

・概 要

日時：2018年3月4日(日)

会場：神戸医療生活協同組合生協会館(兵庫県明石市朝霧南町3丁目13-1)

実施責任者：袁世華 杏林中医薬情報研究所所長(第2期生)

呉小玉 京都光華女子大学健康科学部教授(第21期生)

参加者人数：約70名

プログラム

① 代表挨拶

② 講演

・「気血水から漢方薬を選ぶ」

袁世華 杏林中医薬情報研究所所長(第2期生)

③ 健康相談・血圧測定

予防医学・内科・血液病・放射線・感染・公衆衛生・整形外科・神経内科・精神疾患・眼科・漢方医学
等

看護師による血圧測定

・報 告

中国語での講演は日本語に障害のある参加者に好評であった。又、今回が3回目の開催であるので、今後は糖尿病の対応、生活習慣病の予防についての講演を希望する声もあった。関西在住の第39期研究者が多数参加したことで、健康相談の幅も広がり、活発な活動になった。(呉小玉)



健康相談



参加会員の記念写真

4 モニタリング

今年度実施した研修事業に対して、研修実施責任者と研修受講者にそれぞれ以下の通りアンケートを行った。

4.1 研修実施責任者アンケート

研修実施責任者全員に同一内容のアンケートを配布し、回答を得た。アンケートの質問事項は以下の通り

・質問事項

- 1 あなたの行った「国内研修」は順調でしたか？最大の成果は何ですか？成果未達や問題はありますか？
- 2 あなたの行った「国内研修」は同学会の特異性を体現できていましたか？具体的に記述してください。
- 3 あなたの行った「国内研修」は中国の医療者のニーズに合っていましたか？適切なものを選び()内に○を付けてください。又、どこが合っていて、どこが合っていなかったのか詳細に記載してください。
 - ①ニーズにとっても合っていた
 - ②ニーズにまあ合っていた
 - ③ニーズにあまり合っていなかった
 - ④ニーズに合っていなかった
- 4 あなたの行った「国内研修」は同学会のメンバーの協力を得られましたか？得られた場合、どのように協力者を探し、どのように協力を求めましたか？
- 5 あなたの行った「国内研修」に対する受講者の満足度はどうでしたか？適切なものを選び()内に○を付けてください。又詳細に記載してください。

受講生

 - ①大変満足している
 - ②まあ満足している
 - ③あまり満足していない
 - ④満足していない
- 6 あなたは「国内研修」の受講生の能力がどのように向上し、どれくらい向上したと考えますか？受講生が学んだ知識、見識を自身の立場でどのように用いることができますか？良い例があったら詳しく記載してください。
- 7 国内研修によって、受講生に同学会への認知度が上がりましたか？適切なものを選び()内に○を付けてください。又詳細に記載してください。
 - ①大いに役に立った
 - ②役に立った
 - ③あまり役に立たなかった
 - ④まったく役に立たなかった
- 8 今後の国内研修を計画するうえでどのような研修を行ったらよいと考えますか？他の支部との合作の可能性はありますか？

9 同学会事務局、日本財団、日中医学協会に希望や伝えたいことがありますか？

・まとめ

アンケートからは、研修実施者は自身が責任者となって実施した研修が、同学会という組織の特徴を生かし、受講者のニーズに合った研修を同学会本部の協力を得て順調に終え、受講者も満足度が高かった、と考えていることがわかる。

同学会本部、日本財団、日中医学協会への希望としては、日本財団の支援への感謝と事業の継続の希望が多かった。

4.2 研修受講者アンケート

研修修了時に受講生へのアンケートを行った。アンケートは同一の質問を記した用紙を配布し、無記名で提出する方法で行った。研修毎のアンケートの回答は以下の通り。

4.2.1 産婦人科実用技術研修

1. 受講した研修名・場所・期間

産婦人科実用技術研修 北京協和医院 2017年7月17日～21日

2. なぜこの研修に参加しようと思いましたか。

- ・ 臨床業務能力を高めるため(多数回答)
- ・ 新しい理念・知識を学び、視野を広げるため

3. この研修はあなたのニーズに合っていますか。

①ニーズにとっても合っていた	5名
②ニーズにまあ合っていた	4名
③ニーズにあまり合っていなかった	0名
④ニーズに合っていなかった	0名

4. 研修の内容は、どの程度役に立つものですか。

講義

①とても役に立つ	6名
②まあ役に立つ	3名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

臨床

①とても役に立つ	6名
②まあ役に立つ	3名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

5. 講義：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 系統的に疾病の原因・診断・処置について学ぶことができた。
- ・ 実用的ですぐに応用できる内容であった。
- ・ 内容は良かったが、時間が短かった。
- ・ 質問をする時間が欲しかった。

6. 臨床実習：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 協和医院の文化、業務の特徴が良く理解できた。
- ・ 病棟回診をもっと増やしてほしい。
- ・ 指導者を固定してほしい。
- ・ 手術の参観がしたかった。

7. 研修期間の受入体制、指導者：どのような点が良かったですか。

- ・ 指導者はきめ細かく熱心に指導してくれた。
- ・ 研究計画は合理的で行き届いていた。
- ・ 生活面の手配は周到で行き届いていた。

8. 研修では、ご自身が想定していたような能力開発ができますか。

①十分な能力開発ができる	0名
②まあ能力開発ができる	8名
③あまり能力開発ができない	0名
④能力開発ができない	0名

9. この研修で身につけたことを、現職に戻ってどのように生かすことができますか。

①十分に生かすことができる	3名
②まあまあ生かすことができる	5名
③あまり生かすことができない	0名
④生かすことができない	0名

10. この研修について、まだ受講中ですが、現在あなたはどの程度満足していますか。

①大変満足している	5名
②まあ満足している	2名
③あまり満足していない	0名
④満足していない	0名

11. 中国国内研修や同学会に対して感想、要望、その他の問題点などがあればお聞かせください。

- ・ 短い期間であったが、収穫はとて大きかった。協和医院で研修ができたことを誇りに思う
- ・ 研修で視野が広がった。
- ・ 臨床参観の時間を増やしてほしい。(多数回答)

4.2.2 老年介護実用技術研修

1. 受講した研修名・場所・期間

老年介護実用技術研修 四川大学華西医院 2017年7月23日~28日

2. なぜこの研修に参加しようと思いましたか。

- ・ 高齢者介護の業務能力を向上させるため(多数回答)
- ・ 高齢者看護の管理理念を学び、視野を広げこれからの業務に役立てるため

3. この研修はあなたのニーズに合っていますか。

①ニーズにとっても合っていた	6名
②ニーズにまあ合っていた	1名
③ニーズにあまり合っていなかった	0名
④ニーズに合っていなかった	0名

4. 研修の内容は、どの程度役に立つものですか。

講義

①とても役に立つ	6名
②まあ役に立つ	1名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

臨床

①とても役に立つ	6名
②まあ役に立つ	1名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

5. 講義：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 講義の内容は豊富だったが、時間が短かった。
- ・ 理論と実践が結合し、実用的だった。

6. 臨床実習：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 高齢者体験をしたことは今後の業務に役立つと思う。(多数回答)
- ・ 臨床実習の内容は詳しく良かったが、時間が短かった。

- ・ 患者中心の考え方を学んだ。

7. 研修期間の受入体制、指導者：どのような点が良かったですか。

- ・ 講義は内容が豊富で実用的だった。
- ・ 生活面でも学習面でも温かく助けていただいた。

8. 研修では、ご自身が想定していたような能力開発ができますか。

①十分な能力開発ができる	7名
②まあ能力開発ができる	6名
③あまり能力開発ができない	0名
④能力開発ができない	0名

9. この研修で身に着けたことを、現職に戻ってどのように生かすことができますか。

①十分に生かすことができる	7名
②まあまあ生かすことができる	6名
③あまり生かすことができない	0名
④生かすことができない	0名

10. この研修について、まだ受講中ですが、現在あなたはどの程度満足していますか。

①大変満足している	11名
②まあ満足している	0名
③あまり満足していない	0名
④満足していない	0名

11. 中国国内研修や同学会に対して感想、要望、その他の問題点などがあればお聞かせください。

- ・ このような研修を多く行ってほしい。先進的な医療思想・資源をもっと多く中国に輸入してほしい。
- ・ 参加人数を増加し、時間を長くしてほしい。
- ・ 研修とともに、良い技術や機械をまだ発展していない地域にも普及してほしい。また、学んだ知識を実践にも応用できるようにしてほしい。

4.2.3 呼吸器実用技術研修

1. 受講した研修名・場所・期間

呼吸器疾患実用技術研修 中日友好医院 2017年8月2日～9日

2. なぜこの研修に参加しようと思いましたか。

- ・ 臨床業務能力を高めるため
- ・ 衛生庁からの指示

3. この研修はあなたのニーズに合っていますか。

①ニーズにとっても合っていた	16名
②ニーズにまあ合っていた	7名
③ニーズにあまり合っていなかった	2名
④ニーズに合っていなかった	0名

4. 研修の内容は、どの程度役に立つものですか。

講義

①とても役に立つ	20名
②まあ役に立つ	4名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

臨床

①とても役に立つ	15名
②まあ役に立つ	3名
③あまり役に立たない	1名
④役に立たない	0名

5. 講義：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 講義は全面的で分かり易かった。臨床ともよく結合しており、実践的だった。
- ・ 基層病院は上級病院と差異が大きく、設備も不完全であるので、指導の意義はあまり大きくない。質問時間が短かった。
- ・ 基礎知識についてはよく言及されていたが、深く知りたかった。

6. 臨床実習：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 臨床実践の時間がなかった。

- ・ 実習の時間はなかった。

7. 研修期間の受入体制、指導者：どのような点が良かったですか。

- ・ 講義のレベルは高かったが、時間が短かった。
- ・ 生活の手配はよくしていただいた。

8. 研修では、ご自身が想定していたような能力開発ができますか。

① 十分な能力開発ができる	10名
② まあ能力開発ができる	13名
③ あまり能力開発ができない	2名
④ 能力開発ができない	0名

9. この研修で身につけたことを、現職に戻ってどのように生かすことができますか。

① 十分に生かすことができる	15名
② まあまあ生かすことができる	8名
③ あまり生かすことができない	2名
④ 生かすことができない	0名

10. この研修について、まだ受講中ですが、現在あなたはどの程度満足していますか。

① 大変満足している	18名
② まあ満足している	6名
③ あまり満足していない	1名
④ 満足していない	0名

11. 中国国内研修や同学会に対して感想、要望、その他の問題点などがあればお聞かせください。

- ・ 臨床実践にもっと参加させてほしい。
- ・ 重要な科目についての説明は足りなかった。
- ・ お昼には休憩時間がなかったため、午後は眠かった。
- ・ もっと良い研修を行ってほしい。今回の先生方はあまりよくなかったし、授業の質は良くなかった。

4.2.4 短期総合診療研修

1. 受講した研修名・場所・期間

短期総合診療研修 中国医科大学 2017年9月4日～29日

2. なぜこの研修に参加しようと思いましたか。

- ・ 知識を増やし、技術水準を上げ、業務能力を高めるため
- ・ 病院の指示で、総合診療医のリーダーを育成するため

3. この研修はあなたのニーズに合っていますか。

①ニーズにとっても合っていた	9名
②ニーズにまあ合っていた	6名
③ニーズにあまり合っていなかった	0名
④ニーズに合っていなかった	0名

4. 研修の内容は、どの程度役に立つものですか。

講義

①とても役に立つ	14名
②まあ役に立つ	1名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

臨床

①とても役に立つ	9名
②まあ役に立つ	5名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

5. 講義：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 慢性病、常见病の分析はとても良かったが、内容が些か少なかった。
- ・ 知識や基礎的な内容の講義は面白かったが一部分学びきれなかった。

6. 臨床実習：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 臨床実習の機会が沢山あった。実際に手を動かすことで、操作レベルが上がった。
- ・ 分級診療の資源を共有いただいたことは良かった。

7. 研修期間の受入体制、指導者：どのような点が良かったですか。

- ・ プログラムは全面的で実用的で指導性が高かった。
- ・ 受け入れ体制は行き届いていた。
- ・ 講師の講義はとても細かくて良かったが、時間配分が合理的でないことがあった。

8. 研修では、ご自身が想定していたような能力開発ができますか。

- | | |
|---------------|----|
| ①十分な能力開発ができる | 7名 |
| ②まあ能力開発ができる | 8名 |
| ③あまり能力開発ができない | 0名 |
| ④能力開発ができない | 0名 |

9. この研修で身につけたことを、現職に戻ってどのように生かすことができますか。

- | | |
|----------------|-----|
| ①十分に生かすことができる | 4名 |
| ②まあまあ生かすことができる | 11名 |
| ③あまり生かすことができない | 0名 |
| ④生かすことができない | 0名 |

10. この研修について、まだ受講中ですが、現在あなたはどの程度満足していますか。

- | | |
|-------------|-----|
| ①大変満足している | 13名 |
| ②まあ満足している | 2名 |
| ③あまり満足していない | 0名 |
| ④満足していない | 0名 |

11. 中国国内研修や同学会に対して感想、要望、その他の問題点などがあればお聞かせください。

- ・ 総合診療研修が更に基層と社区の状況に適合するように社区モデルの状況を反映させたものにしてほしい。
- ・ 基層地域で研修に参加する機会を増やしてほしい。

4.2.5 腹腔鏡実用技術研修

1. 受講した研修名・場所・期間

腹腔鏡実用技術研修 中南大学湘雅二院 2017年9月18日～28日

2. なぜこの研修に参加しようと思いましたか。

- ・ 腹腔鏡の実用技術を向上させるため(多数回答)
- ・ 所属機関がこのような研修への参加が必要であるため

3. この研修はあなたのニーズに合っていますか。

①ニーズにとっても合っていた	10名
②ニーズにまあ合っていた	2名
③ニーズにあまり合っていなかった	0名
④ニーズに合っていなかった	0名

4. 研修の内容は、どの程度役に立つものですか。

講義

①とても役に立つ	12名
②まあ役に立つ	0名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

臨床

①とても役に立つ	12名
②まあ役に立つ	0名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

5. 講義：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 病例で視野を広げ、知識を増加することができた。(多数回答)
- ・ よく見られる問題点とその対応方法についての説明が良かった。

6. 臨床実習：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 臨床実習の中でも動物モデルは素晴らしく、役に立った。(多数回答)

7. 研修期間の受入体制、指導者：どのような点が良かったですか。

- ・ スケジュールは合理的で講師は質問に詳しく回答してくれた。
- ・ 生活面も手配が行き届いていた。

8. 研修では、ご自身が想定していたような能力開発ができますか。

①十分な能力開発ができる	10名
②まあ能力開発ができる	2名
③あまり能力開発ができない	0名
④能力開発ができない	0名

9. この研修で身につけたことを、現職に戻ってどのように生かすことができますか。

①十分に生かすことができる	8名
②まあまあ生かすことができる	4名
③あまり生かすことができない	0名
④生かすことができない	0名

10. この研修について、まだ受講中ですが、現在あなたはどの程度満足していますか。

①大変満足している	12名
②まあ満足している	0名
③あまり満足していない	0名
④満足していない	0名

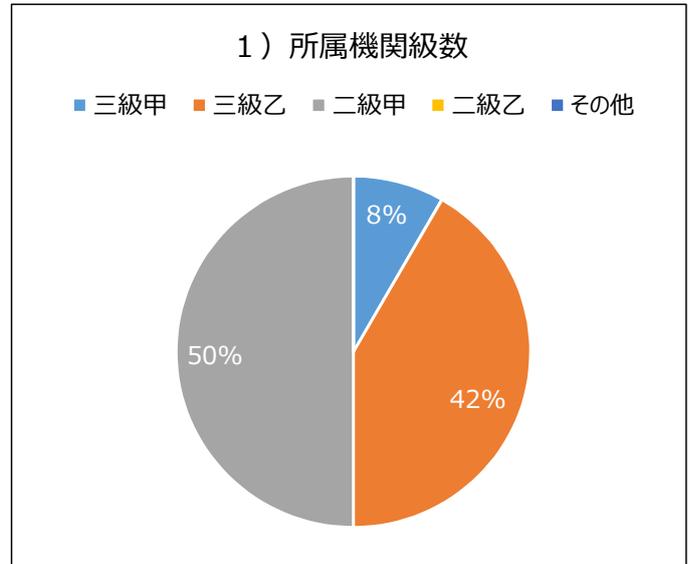
11. 中国国内研修や同学会に対して感想、要望、その他の問題点などがあればお聞かせください。

- ・ 今後もこのような研修を継続しておこなってほしい。(多数回答)

上述の統一アンケート以外に、「腹腔鏡実用技術研修」を実施した中南大学湘雅二院に於いては、受講生のニーズを調べるために、独自に受講者にアンケートを実施した。

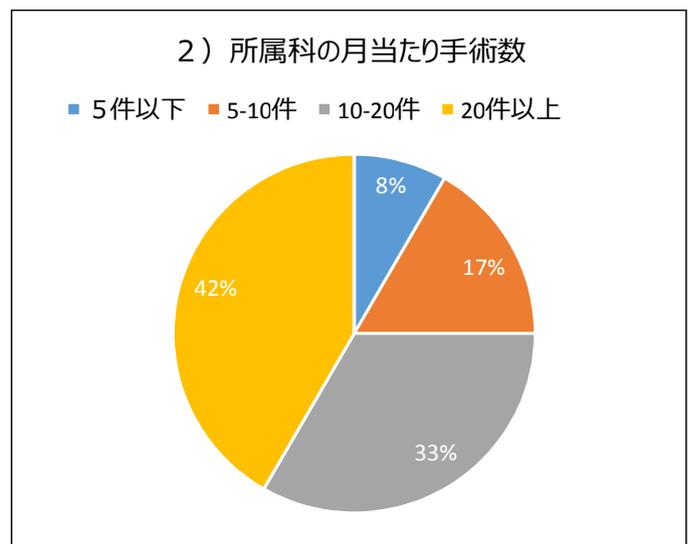
1) 所属病院のレベル

三級甲	1名
三級乙	5名
二級甲	6名
二級乙	0名
その他	0名



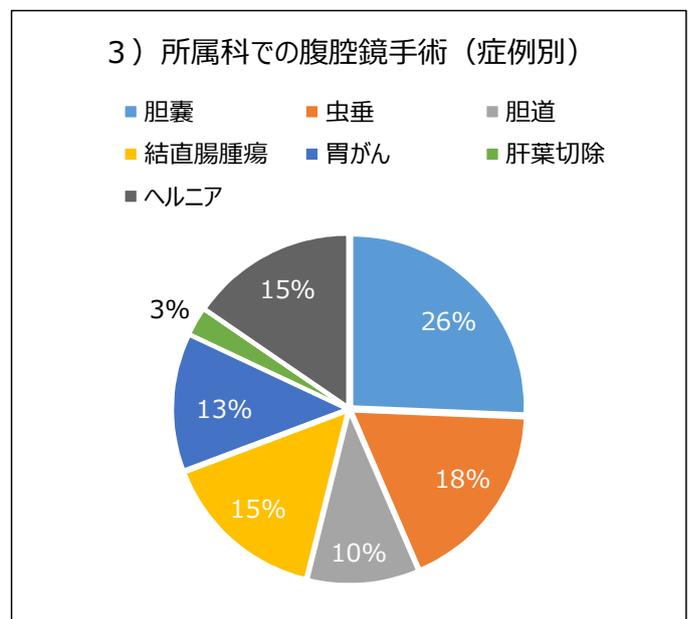
2) 所属科において月何件の腹腔鏡の手術を実施するか

5件以下	1名
5-10件	2名
10-20件	4名
20件以上	5名



3) 所属科が実施した腹腔鏡の手術の種類について

胆嚢	10件
虫垂	7件
胆道	4件
結直腸腫瘍	6件
胃がん	5件
肝葉切除	1件
甲状腺	0件
乳腺	0件
ヘルニア	6件
その他	0件
未実施	0件



4) 所属科においてよく見られる普通外科手術の種類について

胆嚢	10件
虫垂	11件
胆道	8件
結直腸腫瘍	8件
胃がん	8件
肝葉切除	2件
甲状腺	5件
乳腺	5件
ヘルニア	8件
その他	2件

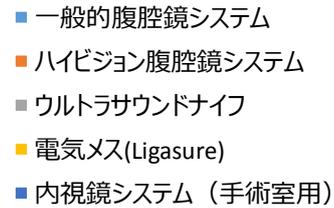
4) 所属科での外科手術(症例別)



5) 所属科の手術室で使用可能なハードウェア

一般的腹腔鏡システム	6名
ハイビジョン腹腔鏡システム	9名
ウルトラサウンドナイフ	7名
電気メス(Ligasure)	1名
内視鏡システム(手術室用)	2名

5) 所属科手術室で使用可能なハードウェア



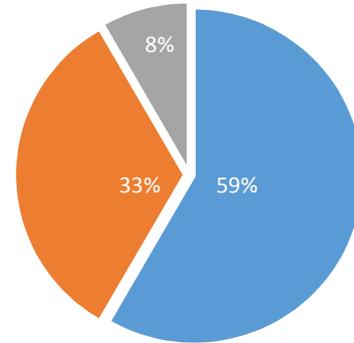
2. 腹腔鏡の基礎状況について

1) あなたが月当たりに実施した腹腔鏡の手術数

5台以下	7名
5-10台	4名
10-20台	1名
20台以上	0名
なし	0名

1) あなたが月当たりに実施した腹腔鏡の手術数

■ 5台以下 ■ 5-10台 ■ 10-20台 ■ 20台以上 ■ なし

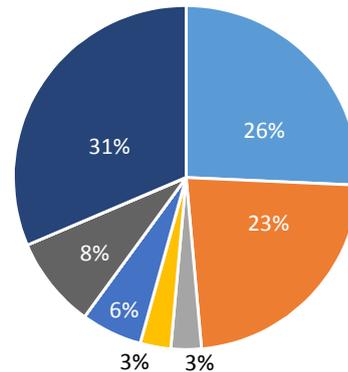


2) あなたが実施した腹腔鏡の手術の種類について

胆嚢	9件
虫垂	8件
胆道	1件
結直腸腫瘍	1件
胃がん	2件
肝葉切除	0件
甲状腺	0件
乳腺	0件
ヘルニア	3件
その他	0件
未実施	11件

2) あなたが実施した腹腔鏡手術について

■ 胆嚢 ■ 虫垂 ■ 胆道
 ■ 結直腸腫瘍 ■ 胃がん ■ 肝葉切除
 ■ 甲状腺 ■ 乳腺 ■ ヘルニア
 ■ その他 ■ 未実施

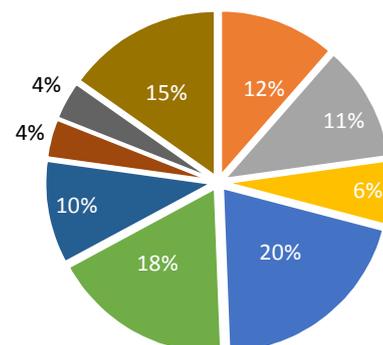


3) あなたが1年間で実施する腹腔鏡手術の種類について

胆嚢	3件
虫垂	3件
胆道	2件
結直腸腫瘍	6件
胃がん	5件
肝葉切除	3件
甲状腺	1件
乳腺	1件
ヘルニア	4件
その他	0件

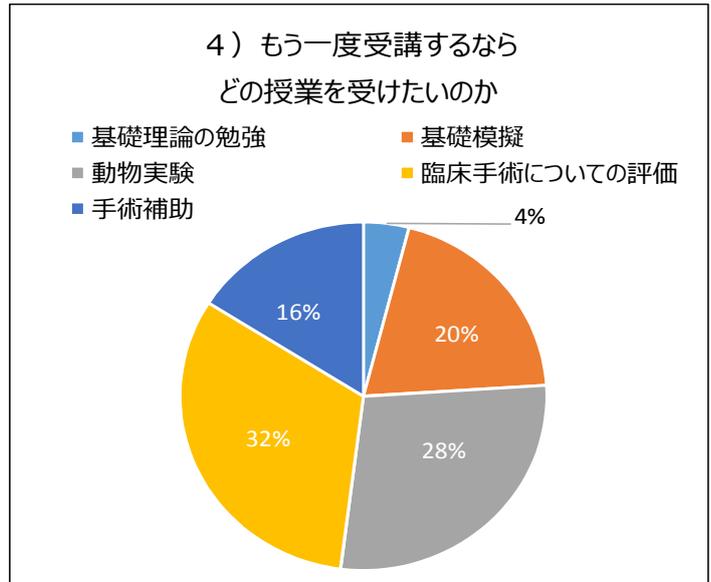
3) あなたが1年間で実施する腹腔鏡手術の種類について

■ 胆嚢 ■ 虫垂 ■ 胆道
 ■ 結直腸腫瘍 ■ 胃がん ■ 肝葉切除
 ■ 甲状腺 ■ 乳腺 ■ ヘルニア
 ■ その他



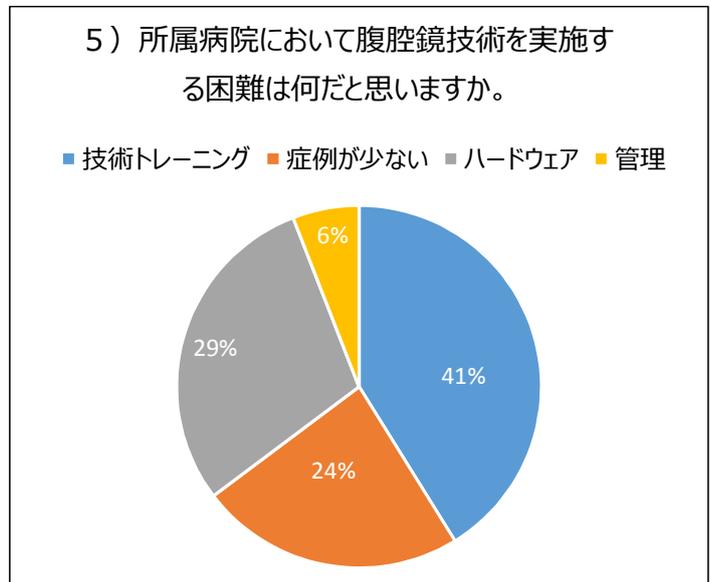
4) もう一度受講するならどの授業を受けたいのか。

基礎理論の勉強	1名
基礎模擬	5名
動物実験	7名
臨床手術についての評価	8名
手術補助	4名



5) 所属病院で腹腔鏡手術実施の障害は何ですか？

技術トレーニング	7名
症例が少ない	4名
ハードウェア	5名
管理	1名



4.2.6 超音波実用技術研修

1. 受講した研修名・場所・期間

超音波実用技術研修 西安交通大学附属第一医院 2017年10月16日～20日

2. なぜこの研修に参加しようと思いましたか。

- ・ 業務能力を向上させ、理論知識を豊かにするため。
- ・ 理論規範を学び、先端的な知識に接するため
- ・ 臨床サービスの向上のため

3. この研修はあなたのニーズに合っていますか。

①ニーズにとっても合っていた	8名
②ニーズにまあ合っていた	3名
③ニーズにあまり合っていなかった	0名
④ニーズに合っていなかった	0名

4. 研修の内容は、どの程度役に立つものですか。

講義

①とても役に立つ	11名
②まあ役に立つ	0名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

臨床

①とても役に立つ	6名
②まあ役に立つ	2名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

5. 講義：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 知識の伝授は全面的でシステムの的であった。
- ・ 講義の後に質問の時間があって良かったが、時間が短かった。

6. 臨床実習：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 各科の研究室で心臓、血管、乳腺等の状況を学びたかった。

- ・ 基層では見られない症例を見て勉強になった。
- ・ 講義で学んだことを臨床実習でやりたかった。

7. 研修期間の受入体制、指導者：どのような点が良かったですか。

- ・ 研修内容が豊富で質が高かった。
- ・ 指導者は熱心で丁寧であった。

8. 研修では、ご自身が想定していたような能力開発ができますか。

①十分な能力開発ができる	8名
②まあ能力開発ができる	4名
③あまり能力開発ができない	0名
④能力開発ができない	0名

9. この研修で身につけたことを、現職に戻ってどのように生かすことができますか。

①十分に生かすことができる	8名
②まあまあ生かすことができる	2名
③あまり生かすことができない	0名
④生かすことができない	0名

10. この研修について、まだ受講中ですが、現在あなたはどの程度満足していますか。

①大変満足している	9名
②まあ満足している	0名
③あまり満足していない	0名
④満足していない	0名

11. 中国国内研修や同学会に対して感想、要望、その他の問題点などがあればお聞かせください。

- ・ 患者により良いサービスを提供したいので、このような研修で基層の医療関係者の力をもっと伸ばしてほしい。
- ・ このような研修がインターネットでできたら、研修効率をもっと高まると思う。

4.2.7 口腔実用技術研修

1. 受講した研修名・場所・期間

口腔実用技術研修 四川大学華西口腔医学院 2017年10月23日～11月3日

2. なぜこの研修に参加しようと思いましたか。

- ・ 技術レベルを向上させ、もっと多くの有益な情報を得るため
- ・ 所属機関の指示による

3. この研修はあなたのニーズに合っていますか。

①ニーズにとっても合っていた	9名
②ニーズにまあ合っていた	0名
③ニーズにあまり合っていなかった	0名
④ニーズに合っていなかった	0名

4. 研修の内容は、どの程度役に立つものですか。

講義

①とても役に立つ	9名
②まあ役に立つ	0名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

臨床

①とても役に立つ	9名
②まあ役に立つ	0名
③あまり役に立たない	0名
④役に立たない	0名

5. 講義：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 内容が豊富だった。
- ・ ポイントが明晰だった。

6. 臨床実習：どのような点が良かったと思いますか。どのような点に問題がありますか。

- ・ 実践的で操作についての授業が多かったので、今後の仕事の役に立つと思う
- ・ まず、見学してから操作するので、技術の向上に役に立った。

7. 研修期間の受入体制、指導者：どのような点が良かったですか。

- ・ 指導者はまじめで責任を持って教えてくれた。
- ・ 生活面の手配は周到だった。

8. 研修では、ご自身が想定していたような能力開発ができますか。

- | | |
|---------------|----|
| ①十分な能力開発ができる | 9名 |
| ②まあ能力開発ができる | 0名 |
| ③あまり能力開発ができない | 0名 |
| ④能力開発ができない | 0名 |

9. この研修で身につけたことを、現職に戻ってどのように生かすことができますか。

- | | |
|----------------|----|
| ①十分に生かすことができる | 9名 |
| ②まあまあ生かすことができる | 0名 |
| ③あまり生かすことができない | 0名 |
| ④生かすことができない | 0名 |

10. この研修について、まだ受講中ですが、現在あなたはどの程度満足していますか。

- | | |
|-------------|----|
| ①大変満足している | 9名 |
| ②まあ満足している | 0名 |
| ③あまり満足していない | 0名 |
| ④満足していない | 0名 |

11. 中国国内研修や同学会に対して感想、要望、その他の問題点などがあればお聞かせください。

- ・ 研修の時間をもっと延長してほしい。
- ・ もっと深く研修したい。

5 アンケート

国内研修実施責任者アンケート

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷

(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中日笹川医学合作项目))
举办地 (北京市) 单位名称 (北京协和医院))
天数 (5) 天 (2017 年 7 月 17 日~2017 年 7 月 21 日)
课堂培训 (○) 有 () 无
临床实习 (○) 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

基本顺利, 圆满完成。最大的成果在于向基层医院医生提供妇科诊疗等知识及相关理念。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

是, 本培训充分调动同学会相关资源, 提供学习平台及机会。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- (○) 1. 充分符合。
- () 2. 大致符合。
- () 3. 不太符合
- () 4. 不符合

妇科诊疗培训班符合目前基层医院医生临床工作内容。

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

是，联系同一单位的同学会同事，邀请其参与培训叫班授课。

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

() 1. 十分满意

() 1. 十分满意。

() 2. 一般满意

() 2. 一般满意。

() 3. 不太满意

() 3. 不太满意

() 4. 不满意

() 4. 不满意

对培训内容质量非常满意
知识点新颖实用
交流高效

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

通过本培训切实提高了自身在基层工作单位的诊疗水平，建立并纠正临床误区及指
疗、诊断原则等，学习基本疾病谱的诊疗常规。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

() 1. 帮助十分大。

() 2. 帮助一般。

() 3. 没多少帮助

() 4. 没帮助

学员们通过本次培训，进一步加深了对同学会的认知。

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

可开展妇科常见疾病的常规、相关专业培训 workshop：如妇科腹腔镜-盆底功能、子宫内异位症相关疾病、腹腔镜技术学习等。对与其他支部合作培训持期待。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

感谢以上部门对本次活动的鼎力支持与尽力相助，希望这样的交流能持续下去，扩散开来！

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷

(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中日笹川老年护理实用技能骨干培训班)
举办地 (四川省成都市) 单位名称 (四川大学华西医院)
天数 (5) 天 (2017年 7月 23日~2017年 7月 28日)
课堂培训 有 (无
临床实习 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

本次开展的“国内培训”总体开展顺利, 最大的成果是通过培训对来自全国各地护理人员的临床护理具有指导意义, 本次的培训内容临床实用性强, 护理理念新颖独特。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

体现了同学会的独特性, 表现在培训方式、方法、内容的独特性, 授课方式采用了临床实践与理论相结合的方式以及学员情景体验模式, 体现了同学会互相、共同分子的理念。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- (○) 1. 充分符合。
() 2. 大致符合。
() 3. 不太符合
() 4. 不符合

理论与实践充分结合。

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

有，得到了同学会的大力支持

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
- () 2. 一般满意
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

回到送培单位开展业务总结评价。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

社区养老照护培训。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

无

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷

(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 ()
举办地 (四川省成都市) 单位名称 (四川大学华西医院)
天数 (5) 天 (2017) 年 7 月 23 日 ~ 2017 年 7 月 28 日
课堂培训 (✓) 有 () 无
临床实习 (✓) 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

总体顺利, 最大的成果是: 来自中日各地的老年护理骨干学习了有关老年护理发展最新动向的知识, 了解了四川大学华西医院老年医学中心在开展老年急性期快速恢复病房(AOE)、长期照护病房、康复病房等模式病房的情况, 并进行了经验分享。此次培训非常圆满, 课程设置合理, 理论结合实践, 学员

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。感到收益匪浅

体现了同学会互助友爱, 相互交流, 共同分享, 促进中日老年护理学科发展的美好愿望。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- (○) 1. 充分符合。
() 2. 大致符合。
() 3. 不太符合
() 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

此次“国内培训”得到了同学会成员的鼎力相助。

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
- () 2. 一般满意
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

回到培训单位，开展老年护理研究。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

希望开展和老年人延读料理相关的培训，是需要开展和其他支部合作的国内培训。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

希望有更多的机会进行交流学习。

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷

(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中日笹川老年护理应用技能骨干培训班)
举办地 (四川省成都市) 单位名称 (四川大学华西医院)
天数 (5) 天 (2017年 7 月 23 日 ~ 2017年 7 月 28 日)
课堂培训 () 有 () 无
临床实习 () 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

培训开展顺利, 拓宽了视野, 学习了国际最新老年护理服务理念, 新的照护技术, 进一步提高了护理人员的专业知识。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

老年照护的新理念, 照护的技术, 有实际操作中的实践机会, 课堂教学模式多样, 学习兴趣与自由度较高。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。并详细告知哪些符合, 哪些不符合。

() 1. 充分符合。 : 学以致用, 贴近临床。
() 2. 大致符合。
() 3. 不太符合
() 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

国内培训得到了同学会成员的大力协助

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
- () 2. 一般满意
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

回到送培单位开展老年主治医师培训。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

暂无计划研究。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

无

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名 称 (中日笹川呼吸与危重症医师培训班)
举办地 (省北京市) 单位名称(中日友好医院)
天 数 (9) 天 (2017 年 8 月 1 日~2017 年 8 月 9 日)
课堂培训 (√) 有 () 无
临床实习 () 有 (√) 无 有临床教学病例讨论

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?
一切顺利。成果就是学员普遍反映收获很大, 对今后工作会有帮助。扩大了笹川同学会和中日友好医院在中国医疗领域的影响。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

充分体现了同学会的独特性。此次“国内培训”在笹川同学会的全方位支持下, 在国家卫计委的支持下, 在中日友好医院中西医结合心内科副主任杜金行(笹川同学会常务理事)、中日友好医院胸外科主任医师宋之乙(往届笹川生)以及笹川同学会挂靠方——中日友好医院院办国合办、日中医学协会等的共同努力下, 得以顺利组织、计划、实施、完成。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在()内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- (√) 1. 充分符合。 课程设置、课程时间、学员招生等的安排皆符合中国医疗工作者的需求, 很多学员都赞赏笹川同学会及中日友好医院, 要求今后继续更多的举办此类公益活动。
- () 2. 大致符合。
- () 3. 不太符合
- () 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

中日友好医院中西医结合心内科副主任杜金行（笹川同学会常务理事）、中日友好医院胸外科主任医师宋之乙（往届笹川生）等都积极主动热情的参与了此次培训班的计划、实施工作。

国合办非常熟悉中日医院笹川医学奖学金同学会在中日医院的开展的所有项目，并有医院医师直接参与同学会理事会的工作，往届所有笹川生的名单也有掌握。此次同学会的工作我们直接邀请杜金行副主任参与计划、设计、组织等工作。杜金行副主任都给予了积极的帮助。

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者 无

- (88%) 1. 十分满意
- (8%) 2. 一般满意
- (3%) 3. 不太满意
- (1%) 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

根据学员的课堂反应以及针对学员的问卷调查表了解到学员对于呼吸系统感染性疾病诊疗策略的知识水平与临床技能的提高等都有很大收获，学以致用情况有待今后追踪反馈。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- (√) 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

学员以往基本不了解同学会的情况，本次培训班的很多环节都强调了笹川同学会的作用。

1. 标题（中日笹川呼吸与危重症医师培训班）中包括了“笹川，
2. 开课式有醒目的横幅悬挂
3. 开课式上中日友好医院彭明强副院长详细介绍了“笹川培训班”的背景、笹川同学会的支持的历史
4. 开课式上隆重介绍了笹川同学会的项目参与人员
5. 欢迎会上笹川同学会成员与学员共进晚餐，进一步充分介绍了笹川同学会
6. 中日医院国合办人员在众多场合向学员介绍项目背景及同学会情况

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

以往的培训班形式比较受学员的欢迎，中日医院对于组织师资、安排授课等都有较强的水平与能力，今后可继续此形式；同时今后也可以临床实习、学术会议等形式开展活动，和其他支部合作开展国内培训也完全可以实施。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

同学会秘书处、日本财团、日中医学协会等对我院是是的笹川培训项目一直都给予着最大的支持与帮助，联络和处理都非常及时、畅通，合作很顺利。今后如能增加项目资金，培训活动将会开展的更好，影响会更大。

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷

(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (全科医学骨干医生培训班)
举办地 (辽宁省 沈阳市) 单位名称 (中国医大一院)
天数 (27) 天 (2017 年 9 月 3 日 ~ 2017 年 9 月 29 日)
课堂培训 (0) 有 () 无
临床实习 (0) 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

培训进展较顺利, 通过授课, 教师的教学能力得到提升。为了更好的完成教学工作, 为了为学员提供更新更全面的学科知识, 授课教师们一直在不断的学习, 业务能力也得到了提高。

培训过程中未出现明显缺失或问题。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

除培训工作外, 对同学会的工作情况没有更多的了解。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- () 1. 充分符合。
- (0) 2. 大致符合。
- () 3. 不太符合
- () 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

全科医学骨干医生的培训工作得到了同学会李忠金老师、吴文利老师、宋洋老师；中国医科大学赵群校长，中国医大一院许顺主任的大力支持与帮助，在此向以上各位老师表示衷心感谢！

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- (0) 1. 十分满意
() 2. 一般满意
() 3. 不太满意
() 4. 不满意

- (0) 1. 十分满意。
() 2. 一般满意。
() 3. 不太满意
() 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

通过培训，学员对“什么是全科医学？什么是全科医生？”有了清晰的理解和深刻的认识。通过学习，学员们对在工作岗位上做好一名合格的全科医生的信心。并有信心能将通过本次培训学到的新知识运用到自己今后的工作当中。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- (0) 1. 帮助十分大。
() 2. 帮助一般。
() 3. 没多少帮助
() 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

通过与学员的交流，听取学员意见，以后的培训考虑开展
临床实践教学如教授查房，全科门诊的日常诊疗等。
如工作需要，在我们的能力范围内可以考虑与其他支部开展合作。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

无

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 ()
举办地 () 辽宁省 沈阳市 单位名称 () 中国医科大学附属第一医院
天数 () 19 天 (2017 年 9 月 4 日~2017 年 9 月 28 日)
课堂培训 () 有 () 无
临床实习 () 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

总体开展较为顺利, 通过培训锻炼师资队伍授课能力, 丰富培训内容, 无明显问题发生。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- () 1. 充分符合。
() 2. 大致符合。
() 3. 不太符合
() 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

得到许顺主任大力支持，主要授课，并组织学员参加地巴高端会议。

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
- () 2. 一般满意
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

增加临床实践工作，门诊(急)诊日常工作。
培训前增加调研工作。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名 称 (中日笹川腹腔镜培训班)
举办地 (省湖南) 单位名称(湘雅二院)
天 数 (9) 天 (2017 年 9 月 17 日~2017 年 9 月 30 日)
课堂培训 (√) 有 () 无
临床实习 (√) 有 () 无 有临床教学病例讨论

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?
一切顺利, 特别是能够上机操作, 学员普遍反映收获很大, 对今后工作会有帮助。 时间有点紧张。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

对, 同学会对我们的帮助很大, 帮我们协调各方面的准备工作, 省去了我们一些时间, 可以在培训中针对性更强, 准备更充足。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- (√) 1. 充分符合。各方面安排皆符合中国医疗工作者的需求, 很多学员都觉得笹川同学会为大家提供了机会, 希望今后能有更多类似的学习机会。
- () 2. 大致符合。
- () 3. 不太符合
- () 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助? 如有, 您是如何寻找协助者, 如何请对方协助的?

同学会给予了巨大的帮助, 从一开始招生, 到学员安排, 师资安排, 当地的笹川生老师也给予了大

量的技术支持。

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者 无

- (92%) 1. 十分满意
(8%) 2. 一般满意
() 3. 不太满意
() 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
() 2. 一般满意。
() 3. 不太满意
() 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

培训中给予了具体的指导，而且学员大多来自小的县城，有一定的局限性，在这里学习后，对知识有了很大的扩充，对新型的病例有了认识，相信在他们日后的临床工作中会有很大帮助。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- (√) 1. 帮助十分大。
() 2. 帮助一般。
() 3. 没多少帮助
() 4. 没帮助

学员过去基本不了解同学会的情况，本次培训班的很多环节都强调了笹川同学会的作用。大家对同学会的工作有了很大认识。

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

尽可能的安排实用性的内容，能够真正给予基层医生帮助的培训，不考虑和其他支部合作，同笹川同学会合作多次，感到他们的认真的工作态度，我们很希望继续合作下去。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

希望日本财团继续给予支持，在同学会的帮助下，我们能为中国的基层医疗做一些贡献。

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中日笹川合作项目2017年超声培训班)
举办地 (陕西省 西安市) 单位名称 (西安交大第一附属医院)
天数 (7) 天 (2017 年 10 月 15 日 ~ 2017 年 10 月 20 日)
课堂培训 (0) 有 () 无
临床实习 (0) 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

答: 培训顺利. 最大的成果是学习到以前不解的知识.
无成果缺失. 无出现问题的情况.

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- () 1. 充分符合。
() 2. 大致符合。
() 3. 不太符合
() 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
- () 2. 一般满意
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

答：培训的学员通过几天的学习，丰富了自己的知识储备，大大提升了自身对疾病的检查诊断能力。学员们应将自己所学理论知识充分带入自己工作中，将理论知识与实践操作相结合，将理论知识充分运用到工作中。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中日笹川医学合作项目2017超声实用技术培训班)
举办地 (陕西省西安市) 单位名称 (西安交大附院)
天数 (5)天 (2017年10月16日~2017年10月20日)
课堂培训 (✓)有 ()无
临床实习 (✓)有 ()无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

顺利。
学到了许多新的知识, 对以前不了解的问题得到了理解。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- (○) 1. 充分符合。
- () 2. 大致符合。
- () 3. 不太符合
- () 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
- () 2. 一般满意
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

培训的学员通过几天的学习,丰富了自己的知识,提高诊断检查能力
把学到的知识带回自己的工作中,理论与实践相结合。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中笹川医学合作项目 2017 年起声实用技术培训班)
举办地 (陕西省西安市) 单位名称 (西安交大一附院超声影像科)
天数 (5) 天 (2017 年 10 月 16 日 ~ 2017 年 10 月 20 日)
课堂培训 () 有 () 无
临床实习 () 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

顺利。学习到了最新的临床指南和超声诊断标准, 了解了一些前沿的信息。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

体现同学会务实, 切实解决基层超声医生急需解决的问题
雪中送炭的精神

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- () 1. 充分符合。
() 2. 大致符合。培训的内容实际操作经常遇到, 充分体现学以致用
() 3. 不太符合
() 4. 不符合 实用的理念。

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷

(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中日笹川合作项目2017年超声培训班)
举办地 (陕西省 西安市) 单位名称 (西安交大一附院)
天数 (5) 天 (2017) 年 10 月 16 日 ~ 2017 年 10 月 20 日)
课堂培训 (0) 有 () 无
临床实习 (0) 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

总体顺利. 对左心功能特别是舒张功能的评估有全新认识.
还有超声造影. 介入超声. 及颈部血管有了更深的认识.

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- (0) 1. 充分符合。
() 2. 大致符合。
() 3. 不太符合
() 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
- () 2. 一般满意
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

感谢您的配合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- | | | |
|---|-----------|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 十分满意 | 服务到位 课程精彩 | <input type="checkbox"/> 1. 十分满意。 |
| <input type="checkbox"/> 2. 一般满意 | | <input type="checkbox"/> 2. 一般满意。 |
| <input type="checkbox"/> 3. 不太满意 | | <input type="checkbox"/> 3. 不太满意 |
| <input type="checkbox"/> 4. 不满意 | | <input type="checkbox"/> 4. 不满意 |

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- 1. 帮助十分大。
- 2. 帮助一般。
- 3. 没多少帮助
- 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中日笹川合作项目 2017 年短期培训班)
举办地 (陕西省 西安市) 单位名称 (交通大学附一院)
天数 (5) 天 (2017 年 10 月 16 日 ~ 2017 年 10 月 20 日)
课堂培训 (✓) 有 () 无
临床实习 (✓) 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

① 顺利
② 学员收获很大, 满足了基层临床工作需要。
③ 没有。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

体现了独特性。
培训内容丰富。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- (✓) 1. 充分符合。
() 2. 大致符合。
() 3. 不太符合
() 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

有。

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- 1. 十分满意
- 2. 一般满意
- 3. 不太满意
- 4. 不满意

- 1. 十分满意。
- 2. 一般满意。
- 3. 不太满意
- 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

通过培训，学员们的理论知识得到了系统加强，很好的应用到了临床工作中去。如：能快速、准确地对腹股沟淋巴结肿大等症加以诊断。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- 1. 帮助十分大。
- 2. 帮助一般。
- 3. 没多少帮助
- 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

起吊机。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

加大培训拨款。

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷

(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中日笹川医学合作项目 2017 年度培训班)
举办地 (陕西省 西安市) 单位名称 (同德大学第一附属医院)
天数 (5) 天 (2017 年 10 月 14 日 ~ 2017 年 10 月 20 日)
课堂培训 () 有 () 无
临床实习 () 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

顺利顺利, 对心内科有进一步的提高, 尤其对心电图分类方面的解剖
科岁以下领域,

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

是, 各有优缺点, 临床、课程合作等。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- () 1. 充分符合。
- () 2. 大致符合。
- () 3. 不太符合
- () 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

电话、信息、微信。

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- 1. 十分满意
- 2. 一般满意
- 3. 不太满意
- 4. 不满意

- 1. 十分满意。
- 2. 一般满意。
- 3. 不太满意
- 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- 1. 帮助十分大。
- 2. 帮助一般。
- 3. 没多少帮助
- 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

对下肢浅深部肌腱起学。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

希望越来越好，^马期盼积极参加学习，按俊发际平学。

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷

(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中国笹川医学合作项目2017年超声应用技术培训班)
举办地 (陕西省 西安市) 单位名称 (交大-附院)
天数 (5) 天 (2017年 10月16日 ~ 2017年 10月20日)
课堂培训 (0) 有 () 无
临床实习 (0) 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

总体来说: 顺利.

成果: 学习到以前未掌握, 未接触的新知识, 超声造影, 盆底功能超声等.

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- () 1. 充分符合。
() 2. 大致符合。
() 3. 不太符合
() 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

有 微信或电话联系

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
- () 2. 一般满意
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

通过开展超声科查为新知识，模块式加深。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

是否可以开展定向培训，如奇为眼部、浅表、血管、心脏等。如此
每次就可以将定向内容讲解地更为透彻，更易于理解掌握

○其他

定向新知识

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

这类培训活动是否可以长期坚持下去。

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 (中国笹川医学合作项目2017起学实用技术培训)
举办地 (陕西省 西安市) 单位名称 (交大一附院)
天数 (6) 天 (2017 年 10 月 16 日 ~ 2017 年 10 月 20 日)
课堂培训 (✓) 有 () 无
临床实习 (✓) 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

会议总体很顺利, 收获很大, 受益匪浅。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

具有一定的独特性, 既有理论授课, 又有临床实习, 既有基础知识, 又有新思维, 新进展。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- () 1. 充分符合。
- (○) 2. 大致符合。
- () 3. 不太符合
- () 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
- () 2. 一般满意
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
- () 2. 一般满意。
- () 3. 不太满意
- () 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

理论加实践。多感性、多探索。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
- () 2. 帮助一般。
- () 3. 没多少帮助
- () 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

目前还没有考虑。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

目前没有。

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名称 ()
举办地 (陕西 省 西安 市) 单位名称 (青海省尖扎县人民医院)
天数 (5) 天 (2017) 年 10 月 16 日 ~ 2017 年 10 月 20 日
课堂培训 () 有 () 无
临床实习 () 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

答: 这次“国内培训”总体满意。最大的成果是这次有幸听到了日本工藤教授和国内超声界大咖李锐教授以及阮教授等在超声造影界的一些新课题、新研究、新进展, 使我对超声在介入治疗方面以及诊断方面的运用有了耳目一新的学习。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

答: 笹川培训体现了同学会的独特性。体现在 1. 每天安排课程学习, 学习培训课程通俗易懂, 2. 每天有安排实习, 学习到了交大第一附院的超声科的诊断方法, 可以参观他们科的仪器设备, 可以见到许多从未见过的特殊病例影像, 收获丰富。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。
并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- () 1. 充分符合。
() 2. 大致符合。
() 3. 不太符合
() 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助？如有，您是如何寻找协助者，如何请对方协助的？

答：得到了同学会成员的协助。
电话、微信寻找协助者。

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”，学员们的满意程度如何？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

学员

就诊者

- () 1. 十分满意
() 2. 一般满意
() 3. 不太满意
() 4. 不满意

- () 1. 十分满意。
() 2. 一般满意。
() 3. 不太满意
() 4. 不满意

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

答：从讲课及实习中得到了提高。可以回去向科室人员开展新技术培训，培训这次学到的新技术、新知识。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- () 1. 帮助十分大。
() 2. 帮助一般。
() 3. 没多少帮助
() 4. 没帮助

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

答：考虑开展肌骨、心脏、介入方面的培训。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

感谢您的配合

日本财团“日中笹川医学合作项目”开展情况评估问卷
(可事先填写完成通过 email 提交, 或于采访当天交给评估人员)

同学会 中国国内培训负责人

选择题为单选, 请在相应 () 内画○。

○以下问题针对同学会工作之一“中国国内培训”的现状。

1. 您所开展的“中国国内培训”的名称、举办地点和举办单位、天数、是否有课堂培训和临床实习?

名 称 (中日笹川医学合作项目口腔实用技术培训班)
举办地 (四川省成都市) 单位名称 (四川大学华西口腔医院)
天 数 () 天 (2017年10月22日~2017年11月3日)
课堂培训 (○) 有 () 无
临床实习/见习 (○) 有 () 无

2. 您所开展的“国内培训”总体是否顺利? 最大的成果是什么? 是否存在成果缺失或出现问题的情况?

培训很顺利; 最大成果是学员学到新技术、新理论; 没有出现问题, 提升了国内基层口腔医生对口腔疾病的临床诊治技能。

3. 您所开展的“国内培训”是否体现了同学会的独特性? 请具体写出。

是的, 同学会负责招收学员, 精准培训所需人员; 每次培训同学会的李忠金老师都亲力亲为参加, 督促培训班的顺利实施; 同学会参与课程安排计划; 同学会老师积极配合各种手续的办理。

4. 您认为同学会开展的“国内培训”是否符合中国医疗工作者的需求? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。并请详细告知哪些符合, 哪些不符合。

- (○) 1. 充分符合。
- () 2. 大致符合。
- () 3. 不太符合
- () 4. 不符合

5. 您所开展的“国内培训”是否得到了同学会成员的协助? 如有, 您是如何寻找协助者, 如何请对方协助的?

“国内培训”得到了同学会成员的积极协助, 通过电话、信件和邮件联系沟通。

○以下问题针对学员和就诊者对“国内培训”的评价。

6. 对于您所开展的“国内培训”, 学员们的满意程度如何? 请选出恰当的一个, 在 () 内画○。并请详细

介绍。

学员

就诊者

- 1. 十分满意
- 2. 一般满意
- 3. 不太满意
- 4. 不满意

- 1. 十分满意。
- 2. 一般满意。
- 3. 不太满意
- 4. 不满意

学到了规范的诊治技术和最新知识最前沿的技术。

7. 您认为“国内培训”的学员能力如何得到了提高，提高程度如何？学员们如何将学到的知识、见识在自身岗位上学以致用？如有优秀事例，请写出。

口腔基础知识和常规诊治技术在国内相关领域顶级老师的培训下，掌握了临床规范操作技术。结合学员提出的问题，进行个别单独辅导，使之学有所用。

8. “国内培训”是否帮助学员们加深了对同学会的认知？请选出恰当的一个，在（ ）内画○。并请详细介绍。

- 1. 帮助十分大。
- 2. 帮助一般。
- 3. 没多少帮助
- 4. 没帮助

开班举行仪式上都要对项目的来源、学院的选拔进行介绍。

○以下问题针对今后的“国内培训”。

9. 今后制定国内培训计划时，您考虑开展哪些内容的培训？是否考虑和其他支部合作开展国内培训？

针对基层医生三基三严的不足进行着重培训，同时兼顾学科发展的前沿技术。
可以考虑与其他学科合作开展国内培训。

○其他

10. 对同学会秘书处、日本财团、日中医学协会是否有希望或想法？

三方共同促进中日医学交流更上一层楼。

感谢您的配合

